

■コンピュータ実習室のプリンタについて

ICT 教育センターでは情報リテラシー教育をはじめとする科目や自習目的のためコンピュータ実習室を整備しております。またプリンタを制限枚数以内であればプリントアウトすることが可能です。

通常、コンピュータを利用する講義・実習・演習などを支援する目的として整備されており、それ以外の目的で利用や制限枚数を超えて印刷する場合は、有料プリンタサービス(紀伊国屋書店等)の利用や各自・各研究室で印刷をお願いします。

プリンタの印刷枚数制限: 半期 **200** ポイントになります。

半期は4月～8月、9月～3月となります

なお利用できる用紙は、A4 サイズ、カラー/モノクロのみになります。

これ以外の用紙サイズは、紙詰まりの原因になりますので利用しないでください。

印刷枚数確認は、印刷枚数確認画面のプログラムで確認してください。

ポイントについては、モノクロは1枚1ポイント、カラーは1枚5ポイントとして計算されます。両面印刷をした場合のポイント計算は少し複雑です。モノクロで説明すると、表面が1枚1ポイント、裏面はその半分の1枚0.5ポイントです。表のみを印刷し、裏が白紙の場合は1ポイントですが、裏に何か印刷があると両面1枚で1.5ポイントとなります。累積ポイントは小数点以下も含めて計算されますが、画面表示は切り捨てなので、表示された値よりも0.5ポイント多い場合があります。カラーの場合は、表が1枚5ポイントで裏がその半分の1枚2.5ポイントです

コンピュータ実習室の代替プリンタ機能について

2018 年度後期から実習室で2台プリンタがある場所(千代崎キャンパスの研究厚生棟、実験実習棟、大学院棟、白子キャンパスの情報演習室)で代替プリンタの機能が利用できます。

代替プリンタは、プリントできないと判断する条件のとき、もう1台のプリンタに出力されます。具体的には、印刷しようとした時、紙詰まり、オフライン、排出トレイが用紙でいっぱい、トナー切れ、カバーが開いている、電源オフ、用紙切れ等です。ただし印刷途中でのエラーの場合は、代替プリンタ機能は実施しません。不要になった紙の「プリント中止」のボタンを押して再度印刷等を行ってください。

トナー・紙の予備は全体でも交換・補充していますが、トナー・紙が切れて利用できない場合がありますので各自交換・補充してください。どうしても難しい場合は別のプリンタで印刷してください。また紙は、部屋から持ち出さないでください。



問い合わせ(トラブル・故障・ご意見)

・ICT 教育センター: ict-centet@suzuka-u.ac.jp / ・作業依頼書の提出をお願いします。